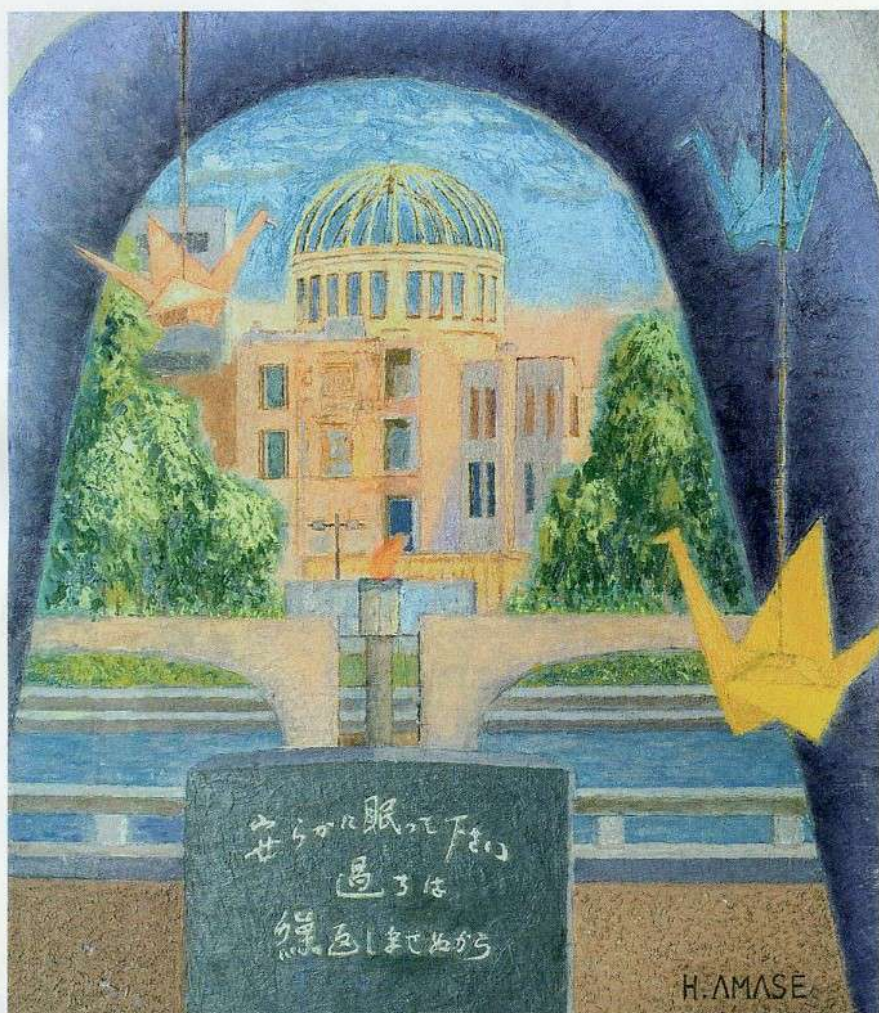


# ヒロシマ

## HIROSHIMA



H. AMASE

2009(下)

広島ペンクラブ60周年記念号

---

ペ

ン

HIROSHIMA

2009(下)

広島ペンクラブ60周年記念号



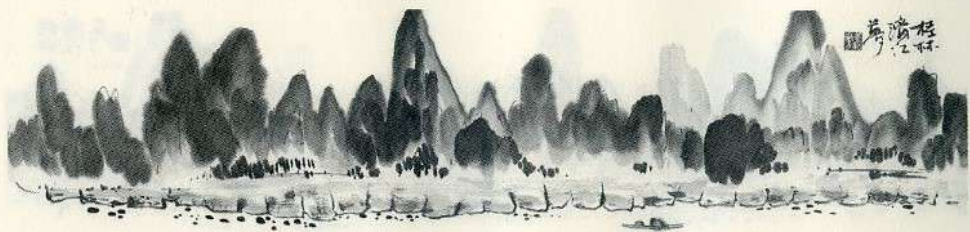
広島ペンクラブ

---



## 《目次》

大木 茂……………遺稿 広島平和記念公園……………	1
原 時彦……………ペンクラブ六十年……………	2
阿刀田 高……………広島ペンクラブ設立六十年を祝して……………	3
広島ペンクラブ今昔物語……………	5
広島ペンクラブの歩み……………	10
垣内 稔……………ペンクラブ「今昔談義」の一片(その一話)……………	22
長谷川是求……………六十年の年輪……………	23
石井 康隆……………広島ペンクラブ六十年に思う……………	24
舛井 寛一……………わが愛「通夜の客」……………	25
山口 隆子……………いつかは、着物生活……………	26
永田 稔衛……………自選歌(その一) 一九九四年より……………	27
難波 紘二……………飯島先生(その四)……………	28
渡辺 玲子……………昭和二十四年当時の出版状況……………	29
中尾 建三……………散るさくら……………	30
夏目 康文……………朧月夜と坊ちゃん湯……………	31
川村 毅……………気になる薬物と気になる子どもへの観察力……………	32
久保田秀男……………死に場所を決めてから……………	33
佐々木 健……………水は心―継承すべき心と水質―……………	34
中下 毬子……………海鳴り……………	35
赤松 和彦……………僕はこうして広島の人になった……………	36
吉中 康麿……………魅力的なミステリーツアー……………	37
土屋 孝子……………自転車見張り番……………	38



高橋 昭三	長火鉢	39
江川 政昭	『刑事コロンボ』今昔	40
上田由美子	銀鱗の鞘	41
玉井田 泰	アナログとデジタル	42
田中 泉	カリフォルニア・エコ事情	43
寺尾 邦昭	雨の中おんぶで横断	44
小杉 萬雄	陸軍第五師団将兵の濡れ衣	45
梶川 成子	六十年前の卵	46
大島 邦夫	広島に写真美術館を	47
松村 誠	故宮の肉形石	48
吉村 馬洗	<b>絶筆</b> 人生の華	49
加田 佳子	想像力の欠如	50
田上公一郎	梅幻寺月光の庭(その拾)	51
天瀬 裕康	演劇・戦後と現在	52
袁 葉	桜の国	53
碓井 静照	日本古代史を思う(21)	54
豊嶋 睦	芸南一路	55
務中 昌己	さくらこぼればなし	56
平塩 清種	寂たる詩興	57
高橋 昭博	被爆の絵の陶板設置に後ろ向きになるな!	58
大谷美奈子	その後の家庭菜園	59
川堀 耕平	おとこの勝負	60
田中 康夫	旅ゆけば……(10)めでためだの神の島	61
新川 貞之	ペンは原爆より強し	62



川畑	蘇楽	くれ花供養	63
井上	哲一	歴史のなかの大歳神社	64
福田	康彦	ささいなことから	65
大谷	育平	ちよつびりエツチな話	66
前原	美穂	霧島から桜島	67
東	和義	助け舟	68
小笠	邦久	天草の旅(その一)	69
三上	寿磨子	夜の明けない朝はない	70
中島	脩	高杉晋作ノート(1) 萩藩の体質	71
木村	進匡	ヒロシマピカドンス	72
西村	哲郎	生涯現役 臨終定年を目指して	73
熊田	幸子	虹色	74
籬	靨	怨讎の連鎖を断つ	75
高橋	博暢	南半球の格安バカンス	76
谷本	直隆	出会いと八郎杉	77
正木	嗣鹏	中国渡来人の書(7) 黄檗の書、そして	78
足立	柳子	天寿	79
佐藤	伊佐雄	不況がもたらす原点回帰	80
亀井	一夫	古希悠悠	81
山本	光珠	乾坤	82
新本	稔	駆け込み	83
世木	田寛子	みちくさのススメ	84
廣田	健吾	チェンジ	85
井尾	義信	郷愁・別府湾	86



迫田	勝明……六十年の忘却のかなたに……	87
児玉	光禎……近ごろ思うこと……	88
阿部	律子……靖国神社参拝……	89
北川	建次……焼け跡・闇市時代のバイオリン弾き……	90
吉村	良哉……無人駅の風景……	91
保手濱	神龍……牡丹に想う……	92
森田	繁昌……遅れた時計……	93
千葉	佳子……市電は私の子守唄……	94
大下	徳也……或る自分史の主人公について……	95
小島	哲……出会い(その二)……	96
新田	和雄……一殺多生という多殺一生……	97
田中	登……葉室潔先生を偲ぶ……	98
亀井	章……原点回顧・初心回帰……	99
片柳	寛……運命(Fate)……	100
小野	文孝……散歩道で……	101
稲田	公子……凡聖庵茶会……	102
花井	隆爾……日々は楽しい日……	103
由田	千鶴子……出雲民芸紙 安部栄四郎との思い出……	104
久村	敬夫……賞、ほど素敵なものは……	105
板倉	昭子……跡は消えせぬ形見なれども……	106
寛	義之……ひとつの風景……	107
今泉	ただし……数方庭の夜……	108



広島ペンクラブ規約	109
編集人記	111
次号原稿の案内	112
表紙の言葉	113

- 表紙題字／大木 茂 ■目次絵／網田 酔雨
- 扉／今泉 質
- ギャラリー／江川 政昭／足立 柳子／赤松 和彦／川堀 耕平

祈りのある空間

紙 天瀬 裕康（あませ ひろやす） 油彩10号

紙 本名・渡辺晋（わたなべ すすむ）、昭和六年（一九三一）呉市生まれ。旧制呉一中より新制宮原高校を経て、三十六年に岡山大学大学院内科学を卒業。六十三年、天瀬裕康名義で近代文芸社より短編集『停まれ、悪夢の明日』を出版し、以後、筆名を常用。現在、杏林画会所属、日本ペンクラブ会員。

○廣島経済大学	131	○マスカン	131	○西短歌会	131
○中尾鉄工所	130	○木村神経科内科	291	○創生俳句会	291
○新本クリニック	128	○太陽俳句会	281	○高陽ニュータウン病院	129
○平安堂梅坪	126	○日本基準寝具	271	○川堀病院	129
○長崎病院	125	○西日本日中旅行社	251	○梶川病院	129
○江川皮ふ科クリニック	123	○広島文芸懇話会	191	○真樹社	129
○今村石材	121	○横田安楽堂	181	○広島銀行	129
○賀茂鶴	116	○広島ゴルフショップ	171	○トーカタテハウジング	129
○エンジェルパルテ	114	○中国放送	171	○オタフクソース	129
○溪水社	111	○三井不動産販売中国	161	○中本本店	129
○東洋観光	111	○カルビ	151	○キリンビール	129
○奥田元宋・小由女美術館	111	○三次ワイナリー	127	○広島管財	127
○文学界	111	○新潮	125	○すばる	127
○ひろしま駅弁	111	○広島ペンクラブ事務局	124	○群像	127
			123	○広島テレビ	127
			121		
			119		
			118		
			117		
			116		
			115		
			114		